



2016.10 vol 56

大好き いばらき



CONTENTS

特集 P6 子ども食堂

～届けよう!子どもたちに温かな食事を～

P2 平成28年度「大好き いばらき 県民運動」事業内容

P4 女性・若者企画提案チャレンジ支援事業

P5 大好き いばらき 地方創生応援事業

P8 花壇づくり現地交流会

P9 水質浄化県民運動

P10 第15回 大好き いばらき ふれあいまつり

P11 SAKURAミーティング

P12 企業による県民運動の紹介

P12 ネットワーカーの活動紹介

P13 茨城県生活学校連絡会

P14 交流サルーンいばらき「寺子屋サルーン」

P15 交通安全県民運動

INFO 茨城県北芸術祭&キャンドルのWA!!

大好き いばらき 県民運動

○福祉社会づくり ○生活環境づくり
○人づくり ○茨城の風土づくり

各地域で行われている青少年育成・福祉・生活環境など、さまざまな分野での活動を、県民や団体、企業、行政が手をつないで支えあい、やさしさとふれあいのある茨城を創っていく運動、それが「大好き いばらき 県民運動」です。

Photo: 女性・若者企画提案チャレンジ支援事業・
大好き いばらき 地方創生応援事業

2

平成28年度 第23回 大好き いばらき 県民会議 総会



本年度活動計画

歳入及び歳出 状況

大好き いばらき
県民会議

[歳入の部]	H27決算額(円)	H28予算額(円)
①会費	2,658,000	3,386,000
②補助金	28,744,885	28,535,000
③委託金	5,358,200	36,874,000
④共催金	1,100,000	1,100,000
⑤諸収入	679,999	200,000
⑥繰越金	6,763,024	2,926,000
計	45,304,108	73,021,000

[歳出の部]	H27決算額(円)	H28予算額(円)
①県民運動推進事業費	10,200,831	40,886,000
②県民運動地域推進員事業費	1,610,514	2,144,000
③生活学校運動推進事業費	310,524	150,000
④普及啓発事業費	7,964,073	4,000,000
⑤NPO等連携協働促進事業費	338,720	1,000,000
⑥交流サロンの管理運営費	4,298,000	4,298,000
⑦運営費	17,655,647	19,543,000
⑧予備費	0	1,000,000
計	42,378,309	73,021,000

県民運動の推進

県民一人ひとりが学び交流するための場づくりや、地域コミュニティ活動の活性化による住民主体の地域づくりを推進するとともに、県民・NPO・企業・行政などによる協働の取り組みを推進します。



- ★県民運動の推進
- ★県民・NPO・企業・行政などによる協働の推進
- ★「交流サロンいばらき」における地域活動団体の主体的な学び合いの場「寺子屋サロン」の実施 など

生活環境づくりの推進

きれいな湖沼・河川づくり、花と緑で潤いのある地域づくり、交通事故のない安全なまちづくりなどを進め、豊かさを実感できる安全・安心で快適な生活環境づくりに取り組みます。



- ★大好き いばらき 花いっぱい運動の推進
 - ・第44回花と緑の環境美化コンクールの実施
 - ・第18回花いっぱい運動定着化促進事業の実施
 - ・花壇づくり現地交流会の実施
 - ・花壇づくり教室の実施
 - ・茨城国体に向けた花いっぱい運動の推進
- ★交通安全県民運動の推進
 - ・高齢者交通安全実践活動推進事業の実施（茨城県交通安全対策協議会との共催）
- ★水質浄化県民運動の支援
- ★大好き いばらき エコライフ運動の推進 など

普及・啓発

大好き いばらき 県民運動や地域活動への参加促進について啓発するため、各種媒体を活用し広報活動に努めます。



- ★広報紙「大好き いばらき」の発行(年2回)
- ★各種パネル展の開催及びパネルの貸し出し
- ★ホームページの充実
- ★リーフレットの作成・配付
- ★会員の拡大 など

生活学校との連携・協働

(公財)あしたの日本を創る協会との連携により、「茨城県生活学校連絡会」が行う運動を支援します。

福祉・人づくりの推進

「大好き いばらき キャンドルナイト宣言」をもとに、関係団体、企業等と連携しながら家族や地域の絆づくりに取り組むとともに、誰もが健やかに暮らせる社会づくり、創造性に富む心豊かな人づくりに取り組みます。



- ★第27回 大好き いばらき 作文コンクールの実施
- ★大好き いばらき キャンドルナイト、キャンドルのWA!!の実施
- ★「いばらき教育の日」関連事業の支援 など

茨城の風土づくりの推進

地域で活躍する人、伝統文化、方言や豊かな自然など本県の素晴らしい資源を活かし、新しい茨城のイメージを内外に伝えるための事業を行い、誰もが大好きと言える茨城づくりの推進に取り組みます。



- ★大好き いばらき ふれあいまつりの開催
- ★大好き いばらき ふるさと自慢事業の実施
- ★あいさつ・声かけ運動の実施
- ★社会のルール・マナーを守る運動の実施 など

ネットワークによる県民運動の推進

ネットワーク(県民運動地域推進員)および市町村との連携を密にし、県民運動の地域への浸透を図ります。



- ★ネットワークの活動促進
- ★ネットワーク活動推進大会の開催
- ★ネットワークバンクの活用
- ★ネットワーク連絡協議会の設立促進 など

活力あるいばらきを創出

茨城の未来を担う若者リーダーを養成するとともに、地域の活性化や女性団体・若者団体の活動の活性化を図り、活力あるいばらきを創出します。また、地域活動団体を支援することにより、地域の活性化を図り、活力あるいばらきを創出します。



- ★女性・若者企画提案チャレンジ支援事業
- ★大好き いばらき 地方創生応援事業

女性・若者・地域活動団体の活動を応援します!



女性・若者企画提案チャレンジ支援事業

女性の活躍や地域課題の解決、地域の活性化など、女性や若者による活力に満ちた地域社会の実現に向けた企画提案を支援します。

★
[活動紹介]
No.1

高校生による映画を通して常陸大宮の魅力発信

《団体》常陸大宮ムービープロダクションチーム

常陸大宮市の地域活性化を目的に映画を製作している「常陸大宮ムービープロダクションチーム」は、脚本、監督、撮影までこなす代表の益子さんの呼びかけで集まった常陸大宮在住の高校生による団体です。「映画を通して常陸大宮の風景や暮らし、ここで何が起きているのか考えてもらい、地域の中で活動する人が増えてほしい」と語る益子さんも、少年時代に参加した常陸大宮市魅力ツアーがきっかけで郷土愛を深めたお1人。昨年度の作品は、協力者や地元での上映が中心だったため、外部に公



開するように撮影したのは今回が初めてになります。satoani文化

祭主催のシンガーソングライターの高田梢枝さんが主題歌を歌う、現在撮影中の映画「ホームタウン」は、2016年11月公開予定です。益子さんが特に思い入れがあるのは、エンドロールとのこと。映画に関わった常陸大宮市の人の名前を出せる機会なので、映画の中でも思いがこもったシーンになるそうです。ぜひ、映画を観る際はエンドロールまでお楽しみください。

Information

映画上映 2016年11月(予定)



★
[活動紹介]
No.2

必要なのは地域の助け

《団体》NPO法人 kosodateはぐはぐ



育児ママが弱音を吐ける「先輩ママ」ボランティア募集中です!!

転入者で地縁がなく、孤立しがちな育児ママが多いつくば市で、地域の人達とゆるやかに「助け・助けられ」の関係を築き、また、子育て支援を通じて地域の「助け合う力」を育みたいと活動するkosodateはぐはぐ。大勢の集まりが苦手なママ向けの小規模な「おしゃべりサロン」や、先輩ママが訪問して「協働」で子育てを支援する「ホームスタート」に取り組んでいます。前島代表は「より多くの地域の方の助けを得ながら、父子家庭や外国人家庭への支援にも力を入れたい」と抱負を話していました。



「企画提案チャレンジ支援」で様々な企画が選定されました

- ★「常総市大水害～被災者の声記録集」作成・発行事業
- ★「デートDV出前講座～若者をつくる暴力防止グループワーク」事業
- ★大学生による茨城の「農業」普及イベント
- ★女性のための健康教育出前講座
- ★被災者へのリフレッシュキャンプの実施
- ★高校生による水質浄化調査と発信

【一部抜粋】



詳しくはコチラで検索!

女性・若者企画提案

検索

茨城県では、人口減少に伴う地域活力の衰退に歯止めをかけるため、女性や若者が新たに価値を生み出し、チャレンジできる機会をバックアップしています。また、従来の地域社会のつながりを維持し、さらなる活力を生み出すため、町内会や子ども会、地域女性団体など県内地域の活動も支援していきます。

創設から20年、「向こう3軒両隣」の精神で県民運動を推進してきた大好き いばらき 県民会議でも、女性や若者の新しいアイデアと元気な地域社会の絆で、県民一人ひとりが茨城がもっと大好きになれるよう全力で応援します！

大好き いばらき 地方創生応援事業

活力に満ちた地域社会の実現に向け、地域の活性化に自主的・主体的に取り組む団体等を支援します。

★
[活動紹介]
No.1

歴史と街をつなぐ市民の行燈

《団体》まかべ♥街灯りプロジェクト

茨城県桜川市の真壁町に「まかべ♥街灯りプロジェクト」があります。県内外から、真壁を訪れる人を増やすために、街中で市民団体によるステージイベントや出展が行われる「まかべ♥街灯り・十三夜祭」の開催や真壁の街並みを魅力的に見せるための行燈の設置などの景観づくりを行っております。行燈には、真壁の伝承や歴史が文章と切り絵で表現されており、街並みを歩きながら、真壁の歴史に触れることができます。代表の村上さんは「真壁は歴史と文化の街です。平成22年には、県内で初めて、重要伝統的建造物群保存地区に指定されました。是非、真壁の街に遊びに来てください。」と話していました。歴史のある真壁の街並みを歩きながら、市民が作った祭りや行燈の灯りを通して真壁の魅力に触れてみてはいかがでしょうか。



Information

まかべ♥街灯り・十三夜祭 2016年10月22日



★
[活動紹介]
No.2

日本語学習と文化・心の交流

《団体》サバイディ

小美玉市羽鳥ふれあいセンターで毎週木曜夜、日本語教室を開催しています。多国籍な生徒達を指導するのは、20代から70代の職業も様々なボランティアです。「職場のコミュニケーションを良くしたい」と通う生徒達に、挨拶や時間を守る国民性など、日本の文化も一緒に指導しています。生徒達の優しさや、他国の文化に触れられる事がやりの一つと話す皆さん。年1回のバス旅行や、年賀状、七夕などの季節行事も皆で楽しむという教室には、家族的な温かさがありました。



「地方創生応援事業」で様々な企画が選定されました

- ★認知症予防のための料理教室
- ★里山の環境保全を通じた地域の多世代交流
- ★戦争体験の聞き取り調査と記録集の作成
- ★子どもの遊び場づくりとスタッフ育成
- ★未婚男女の婚活交流会及び相談会
- ★困難な環境にある子どもの居場所づくりと子ども食堂の開催

【一部抜粋】



詳しくはコチラで検索!

大好きいばらき地方創生

検索



届けよう! 子どもたちに温かな食事を 子ども食堂

つくば子供の家食堂

「つくば子供の家食堂」は、つくば市の上中妻にあるレストランの跡地を利用し、毎月第1・第3水曜日の午後5時30分から開催している子ども食堂です。

この活動を実施しているNPO 法人マナーズは、15歳～20歳までの、なんらかの理由で家庭にいられなくなった青少年達に暮らしの場を提供する自立援助ホームを運営しています。つくば子供の家食堂を始めたのは、自立援助ホームの中で、子どもの時期にあまり大人と関わってこなかった青年たちの姿を見て、子どもが大人と関わる機会を持つことの必要性を強く感じたからだと言います。宅間理事長からは「今後は、近隣の人たちに子ども食堂の存在を知ってもらい、協力して運営していきたい。地域で子どもを見るきっかけになってほしい。」とお話がありました。



いこいのこども食堂

2016年 8月16日[火]・28日[日]
《11:30-13:30》開催

取手市の取手井野団地では、いこいの+TAPPINO が夏休みの2日間「こども食堂」に变身しました。

いこいのこども食堂は、赤ちゃんから高齢の方までどなたでも歓迎の場所です。食堂の飾り付けや看板作りなど、参加したみんなが「食堂づくり」からはじまり、地域のお母さんやお父さんがつくってくれたおいしいごはんをみんなでいただきました。この企画は同団地で《アートのある団地》の取り組みを行う取手アートプロジェクトと取手市ネットワーク等連絡協議会のみなさん、いこいのこども食堂ボランティアスタッフのみなさんによって運営されました。次回も、長期休暇にいこいの+TAPPINO は、こども食堂に变身する予定です!



「子ども食堂」という言葉を聞いたことがありますか。今、この取り組みが全国的に活発化しています。朝日新聞の調査によると、全国で2015年には、100カ所程度の実施でしたが、2016年には300カ所を超え、その後も増え続けています。この「子ども食堂」とは、親の共働きや貧困など、家庭の様々な事情により、一人で食事をする子どもや十分な食事の機会を得ることのできない子どもに対して、地域や企業、団体などにより複数の人と食事をする場を提供する取り組みのことです。

県内でも「子ども食堂」開催の動きが進んでおり、大好き いばらき 県民会議でも「誰もが大好きと言える茨城づくり」の推進のため、こうした取り組みを推奨するとともに、今回、広報紙にて、県内の子どもの食に関わる活動を取り上げることになりました。

ここでは、特徴のある取り組みを行っている3つの団体と、生活困窮者支援として食材の提供を行っているフードバンクをご紹介します。

下妻市 いばらきコープ+下妻市社会福祉協議会「ほぺたん食堂」

下妻市コミュニティーカフェ「ぶらっとほーむ」において、いばらきコープ生活協同組合と下妻市社会福祉協議会が協力し、「ほぺたん食堂」を開催しています。

「ほぺたん食堂」は、「学習支援」と「共食」の2つのテーマで運営されています。「学習支援」では、食事の前に地元の高校生や同会場で行われているサロンの参加者の協力のもと、子どもの宿題や日々の勉強のサポートをしています。「共食」は、「様々な人々と共に食事をする」ことです。子どもや家族だけではなく、様々な人と共に食事することで、普段関わらない人々たちをつなぎ、それが地域を結んでいく、そんな場づくりをしています。



牛久フードバンク

フードバンクとは?

フードバンクとは、余って捨ててしまうような食品や食べられるにもかかわらず、規格外、包装ミスなどの理由で廃棄されてしまう食品(食品ロス)を、個人や企業などから提供を受け、福祉施設など食品を必要としているところにプレゼント



する活動です。茨城県では、フードバンク茨城が担い、社会福祉協議会やNPO法人などに食材の提供を行っています。食材を寄付したいと考えている方は、フードバンク茨城にお問合せください。

お問い合わせ 〒300-1221 茨城県牛久市牛久町1024-1 パルシステム茨城うつくセンター内
Tel & Fax. 029-874-3001 営業日:月・水・金(祝日休み) 10:00~16:00
E-mail fb.ibaraki@gmail.com ツイッター @fb_ibaraki



あなたも「食の支援」をサポートしませんか!

フードバンクでは食品工場、スーパー、農家などから、まだ食べられるのにも関わらず、さまざまな理由で廃棄されてしまう食品を引き取ります。また、個人などからの食品の寄付も受け取ります。そして、これらの食品を必要としている団体に届けます。「もったいない」を「ありがとう」に変える活動がフードバンクです。

花壇づくり現地交流会

大好き いばらき 県民会議では、花づくりを通じて地域の皆さんが交流を深めたり、美しいまちづくりを進めながら地域に愛着を持つ契機となるよう、花いっぱい運動を推進しています。

7月2日(土)に開催した「花壇づくり現地交流会」では、花いっぱい運動の促進、また、各地域で花づくりに取り組む皆さんの活動の参考になるようにと、「花と緑の環境美化コンクール」知事賞受賞花壇の見学と、専門家による講話を行いました。参加された皆さんは、具体的なアドバイスを求めたり、積極的に質問するなど、活発な学びの時間になりました。

土浦市六中地区コミュニティセンター

平成26年度 県知事賞受賞花壇

高低差を考慮した植物の配置や、スロープ壁面を活用したプランター設置を工夫したボリューム感のある花壇。地域ぐるみで手入れを行ったり、小学生向けの課外活動など、市民交流の拠点としても活用されています。

土浦市三中地区市民委員会

平成23年度 県知事賞受賞花壇

サルビア、マリーゴールドを中心に、琉球アサガオ、ゴーヤなど大規模なグリーンカーテンも特徴的。公民館利用者が、草取りや花殻摘みなど日常的な手入れに協力するなど、地域の愛情で咲いている花壇でした。



園芸で大切なことは、花壇作りをする過程を楽しむこと。芽が出た喜び、花が咲いた喜びを大切に。コンクールの受賞は、その過程の結果としてついてくるものと考え、楽しみましょう。

(株)坂田園芸
講話 湯原 英之氏

花壇づくりのアドバイス

花壇向きの土作りのポイントは保水性と排水性。

堆肥各種・液肥・石灰を使用する前に、それぞれの効能をよく確認!
(強度・成分・使用時期に注意が必要)

花壇の環境(日照・水はけ等)にあった花を植えよう!

花と緑の環境美化コンクール

大好き いばらき 県民会議では、花いっぱい運動が地域や団体に根差した運動となるよう、豊かな地域づくりを目指し「花いっぱい運動」で活躍している地域・団体・職場・学校を表彰します。

皆さまが大切に育てている花壇の参加をお待ちしています。

花と緑の環境美化コンクールの流れ

応募

市町村審査

書類審査

現地審査

各賞の決定、表彰式での表彰



水質浄化県民運動

大好き いばらき 県民会議では、涸沼や霞ヶ浦など地域の宝である湖沼の水質浄化運動を継続して行っています。皆さんも、簡単にできることから始めてみませんか？

《ひぬま流域クリーン作戦》

海の日連休初日の7月16日(土)早朝、ラムサール条約湿地「涸沼」の水質浄化や自然環境保護のため、涸沼自然公園を拠点としたごみ拾いと外来植物(セイタカアワダチソウ・キンケイギク・アレチウリ)の除去を行いました。涸沼流域市町の企業・団体や地域住民、近隣中学・高校などから参加された約700名の皆さん、ご協力ありがとうございました。

参加者の声

- イヌワシ・オオワシの姿を見て以来、涸沼の生態系に興味があります。清掃しながら、鳥達の棲み家になっている環境を観察できて良かったです。
- 子供と参加。幼児に3kmコースは辛いかな?と心配でしたが、虫と植物の観察や、トトロの森を見つけた!と、楽しんでゴールできたようです。



《第21回 泳げる霞ヶ浦市民フェスティバル》

大好き いばらき 県民会議では、霞ヶ浦の水質改善にも有効な「エコライフ運動」をPRしました。ペットボトルと小石、ガーゼなどを使った「泥ろ過装置」や、食器用洗剤の使用量を減らせる「指編みアクリルたわし」作りなど、環境にやさしい工作に子供達は興味津々でした。

参加者の声

- 自分で作ったアクリルたわしで、家族の茶碗を洗いたいです。
- ろ過装置は身近な材料で作れるので、災害時に備えて置きたいです。



第17回世界湖沼会議(2018年)茨城県で開催決定!

1995年に霞ヶ浦湖畔で開かれた第6回会議以来、23年ぶりに、本県で世界湖沼会議が開催されます。第6回会議では、多くの市民団体も参加し、8千名を超える大規模な国際会議となりました。次の第17回会議(2018年)に向け、身近な水環境の改善について考え、行動していきましょう。



<泥ろ過装置>

ペットボトルにティッシュペーパー、大・中・小粒の砂利、砂、ガーゼや不織布の順に重ねて完成。砂の混じった水を注ぐと、装置を通るうちにろ過され、透明な水が染み出す。この水は煮沸すれば飲用OKなので、災害など水不足の時に活用できます。

<世界湖沼会議とは?>

1984年に滋賀県の提唱により開かれた「世界湖沼環境会議」の後身として、世界各地で開催されてきた会議。学術・行政・民間セクターの代表者が集まり、世界の湖沼とその流域で起こっている多種多様な環境問題の解決に向けた議論が行われています。

ふれあいまつり



みんなの笑顔で三の丸から満開宣言♪
ふれあいまつりを開催しました。

4月2日(土)に、茨城県三の丸庁舎特設会場において、
第15回大好き いばらき ふれあいまつりを開催しました。

今年のテーマは、「みんなの笑顔で、三の丸から満開宣言」とした通り、満開の桜の元、市内でも一足先にイベントを開催しました。ステージイベントは、高校生によるジャズバンドやマーチングバンドの演奏をはじめ、渡里ふれあい太鼓や茨城県アイメイト支援の会など、市民団体による活動発表のほか、笠間市出身でNHKのど自慢でチャンピオンに輝いた小山理沙さんによる歌の披露などを行い、たくさんの来場者にお楽しみいただきました。また、路線バスに落書きできるらくがきバス、昔遊び、牛乳パック工作などの体験コーナーや茨城県の特産品をはじめとしたご当地グルメコーナー、パザーコーナーのほか、商店街の協力を得て実施したスタンプラリーや周辺を巡るふれあいウォーキングなども行いました。

地域のみなさんで作るふれあいまつり。来年もたくさんのご来場をお待ちしております。





地域とのつながりを深める、
はじめての一步。

SAKURAミーティング

ーいばらきNPO・地域活動つながるワークショップーを開催しました。

4月2日(土)に茨城県三の丸庁舎において、茨城県水戸生涯学習センターと共催でSAKURAミーティングーいばらきNPO・地域活動つながるワークショップーを開催しました。

県内のNPO・地域活動団体の活動を知ってもらうことや、団体同士のネットワークを広げることを目的に、県内で先進的な取り組みをしている6団体を招集し、日々の活動を紹介する展示やそれに関連するワークショップなどを行いました。ワークショップでは、団体が取り組む地域活動について知る機会だけではなく、子どもたちにとって楽しめる内容となっていたため、会場には、子どもがたくさん溢れ、とても賑やかな場となっていました。

ご参加頂いた皆さん、出展して頂いた団体の皆さん、本当にありがとうございました。

大好き いばらき 県民会議では、今後も県民の皆さんと地域活動をつなげる支援を行っていきたいと思います。

出展団体

310+1 シネマプロジェクト
アナログシネマワークショップ
「みる・しる・つくる」

茨城県北ジオパーク推進協議会
アンモナイトのレプリカ作り

**茨城県世界青少年
コミュニケーションクラブ**
英語で自己紹介や世界について知り
国際理解を深めよう!

ポットラックフィールド里美
なりきりディスカッション
「リノベーションは誰のため?」

認定NPO法人 水戸こどもの劇場
チェキ(インスタントカメラ)を使って
100人インタビュー

ソクラテス・サンバ・カフェ
「哲学カフェ」



企業による県民運動の紹介

額に汗して、一步一步地域のために。

株木建設株式会社

株木建設は、大正10年から続く、建設業の会社です。20年以上前に水戸周辺で開催される祭りなどで、汚れてしまった湖岸を清掃する活動を始めました。

現在では、会社の呼びかけで集まった30名程度の社員により、年3回ほど行っています。平成26年には、その地道な活動が評価され、環境省の地域環境美化功績者として表彰されました。

株木建設の担当者からは、「社会貢献や社員のモラル意識の向上のため、会社で清掃活動を行っています。活動を始めた20年前は、千波湖にたくさんのゴミがありましたが、今では清掃活動に取り組む団体も増えたため、ゴミが少なくなってきました。今後は、地域に根付いた企業として何ができるのかを考えながら、他の企業と連携をし、地域に必要なことをやっていきたい。」との話がありました。地球に何ができるのかを考え、企業として県民運動を実践していました。

Information

株木建設株式会社

[本店] 〒310-0845
茨城県水戸市吉沢町311番地1

Tel.029-248-0688

Fax.029-248-0698



ネットワーカーの活動紹介

県民運動を 地域で支える

「LOVE TRAIN 常総 開催しました!」

去る7月3日(日)「水海道あすなろの里」(常総市)において、お見合いパーティー・「LOVE TRAIN 常総」を開催しました。このパーティーは2011年下妻市ネットワーカー等連絡協議会 軽部前会長の提唱で始まった事業です。今回は募集定員、男女各30名でしたが男女各40名以上の参加となり12組のカップルが成立するという盛り上がりを見せました。少子化対策と騒がれている昨今ではありますが、まずは男女が知り合う機会を提供することが全ての始まりだと思います。次回は今回以上の成果を上げたいと願っています。今後も皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

主催: LOVE TRAIN 常総 実行委員会

常総周辺のネットワーカー等連絡協議会により運営されている。
(結城市,下妻市,取手市,守谷市,坂東市,五霞町,境町,八千代町,常総市)

皆さんも一緒に活動しませんか?!

大好き いばらき 県民運動は、ネットワーカー(県民運動地域推進員)と呼ばれる皆さんによってその活動の輪が広がり、地域の人たちのネットワークづくりや住みよい茨城づくりが進められています。ネットワーカーは、市町村長からの推薦を受けて、大好き いばらき 県民会議が、随時、委嘱しています。詳しくは、お住まいの市町村へお問い合わせください。



茨城県生活学校連絡会

茨城県生活学校連絡会とは？

生活学校は、「身近な生活課題を生活者の視点で解決しよう」を基本理念として、財団法人新生活運動協会（現：公益財団法人あしたの日本を創る協会）が「暮らしの工夫運動」を推進する中で昭和39年に生まれ、茨城県生活学校連絡会は、昭和43年に結成しました。近年では、「もったいない」をキーワードにした4R運動を地域の中で推進し、特に食の安全や、自給率などの問題解決のための糸口を探る行動として、「食を通じたエコライフ運動」をテーマに、県内5地区の生活学校が集まり日ごろの取り組みや研究成果を発表する研究集会の開催や食品ロスの研究・普及活動を実施しています。

地区での活動

各地区の生活学校では、その地域の課題に即した事業を実施しています。

例えば、延方生活学校では、地域の絆づくりを目的に、自治会との協力による三世代交流事業として、近隣の子どもに対し、お楽しみ会やキャンドルナイトを行い、多世代が交流する場を作っています。



食品ロスの研究と普及

食品ロスとは、売れ残って廃棄された食品や、飲食店での食べ残し、家庭で捨てられる食材の事です。

茨城県生活学校連絡会では、会員に対してアンケート調査を行い、1家庭あたり10日間で973円の食材が捨てられることを発見し、活動を冊子にまとめました。こうした食品ロスの調査や印刷物等での普及活動をしています。

研究集会

県内の生活学校が集まり、環境に関する勉強会や地区ごとの研究発表等を行う研究集会を開催しています。

昨年度には、水戸地方気象台調査官の森井氏を講師として、地球温暖化についての近況やその原因について学びました。また、合わせて、県内の生活学校の研究発表等を行い、生活学校同士の交流や学び合いを行っています。





交流サロニーばらき
NPO・地域活動者向け
交流・学び合いの場

平成
28年度

寺子屋サロニー

「寺子屋サロニー」とは、県内のNPO・地域活動実践者向けの気軽に参加できる学び合いの場です。受け身ではない参加型学習を通して、「参加者同士の情報交換・交流」、「それぞれの活動のスキルアップ」、「団体間の連携・協働」を目指していきます。皆さんも参加してみませんか？

第11回

7月3日[日]

地域活動PRの発想とコツを学ぼう

第11回講座では、自分達の活動をより多くの人達に知ってもらいたい、一緒に活動する仲間を増やしたい、という悩みに答える「地域活動PRの発想とコツ」を学びました。

「意義ある活動なのに、いまいち興味をもってもらえない。」「共感してくれる仲間が増えない。」など、地域活動でぶつかる悩みの一つを解決する「PRの発想とちょっとしたコツ」を学ぶ講座となりました。国内外の成功事例を中心に「相手に伝わる広報・PRとはどんなものか？」を学んだ後、早速ワークショップでその手法を実践しました。課題は「CAP (Child (こども) Assault (暴力) Prevention (防止))の有料プログラムを受けてもらうPR法を考える」というもので、ターゲットの設定・分析・PRメッセージの作成を、5チームで行いました。各チームの発表内容はそれぞれに特色があり、会場は大いに盛り上がっていました。

自分達の活動が何に役立つか？ストーリーを作って発信しよう。

ポイント

- ◎ PRしたいターゲットを設定(誰に伝えたい?)
- ◎ ターゲットの分析(興味・悩みは何?)
- ◎ PRメッセージの作成(ターゲットの視点から、響く情報を考える)
- ◎ 取材してもらうための方策を考える(資料・取材先の前準備)

メインスピーカー

茨城大学広報室 山崎 一希 先生

お問い合わせ

茨城県水戸市三の丸1-5-38 茨城県三の丸庁舎2階 交流サロニーばらき

Tel.029-302-2160 Fax.029-233-0030

URL

<http://www.daisuki-ibaraki.jp/saloon.html>

交流サロニーばらきの各種サービス内容、NPO等向けの助成金情報などを掲載しています。

facebook

交流サロニーばらき

<https://www.facebook.com/koryu.saloon.ibaraki>

寺子屋サロニーの開催情報や県内の地域活動レポートなどを発信しています。ぜひご覧ください。



～ 交通ルールの遵守と交通マナーの向上～

交通安全県民運動

県民一人ひとりに広く交通安全思想の普及・浸透を図り、交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を習慣付けることにより、交通事故のない安全で快適な交通社会を実現するための運動です。平成27年中の県内における交通事故発生件数は、15年連続で減少していますが、交通死亡事故死者数は140人と、決して少なくありません。あなた自身、また、あなたの大切な人の命を守るためにも、一人ひとりが交通安全意識を高めるとともに、思いやりとゆずり合いの心を持ち、交通安全活動を実践しながら交通事故の防止を目指しましょう。

年間重点スローガン

見る止まる 歩行者優先 心がけ
(運転者向け)
気をつけよう 危険がひそむ 慣れた道
(歩行者・自転車利用者向け)

交通マナー向上運動

自ら「知る」、周りに「知らせる」、
相手に「譲る」

茨城県の死亡事故の特徴

脇見漫然の事故、最高速度
違反、横断歩行者の交通事
故、飲酒運転の事故が多い。

運転手、歩行者とも交通ルールの
遵守と正しい交通マナーの実践
が重要です!!

一人ひとりの心がけが、交通事故を防ぎます

- ①歩行者の保護 ②高齢者の交通事故防止 ③子供の交通事故防止
- ④夜間(特に薄暮時)の交通事故防止 ⑤飲酒運転の根絶
- ⑥全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
- ⑦自転車の安全利用の推進



あなたもエコドライブをしていますか?

大好き いばらき 県民会議は、交通安全県民運動としてエコドライブを推進しています。あなたのちょっとした心がけが地球温暖化を防ぎます。



エコドライブ10のすすめ

1 ふんわりアクセル「eスタート」

発進するときは、穏やかにアクセルを踏んで発進しましょう。

2 車間距離にゆとりをもって、 加速・減速の少ない運転

走行中は、一定の速度で走ることを心がけましょう。

3 減速時は早めにアクセルを離そう

信号が変わるなど停止することがわかったら、
早めにアクセルから足を離しましょう。

4 エアコンの使用は適切に

暖房のみ必要なときは、エアコンスイッチをOFFにしましょう。

5 ムダなアイドリングはやめよう

待ち合わせや荷物の積み下ろしなどによる駐車の際は、
アイドリングはやめましょう。

6 渋滞を避け、余裕をもって出発しよう

出かける前に、渋滞・交通規制などの道路交通情報や地図・カーナビ
などを注意して、行き先やルートをあらかじめ確認し、時間に余裕を
もって出発しましょう。

7 タイヤの空気圧から始める点検・整備

タイヤの空気圧チェックを習慣づけましょう。

8 不要な荷物はおろそう

運ぶ必要のない荷物は車からおろしましょう。

9 走行の妨げとなる駐車はやめよう

迷惑駐車はやめましょう。

10 自分の燃費を把握しよう

自分の車の燃費を把握することを習慣にしましょう。

出典 / いばらきエコドライブ推進協議会 茨城県地球温暖化防止活動推進センター

Information

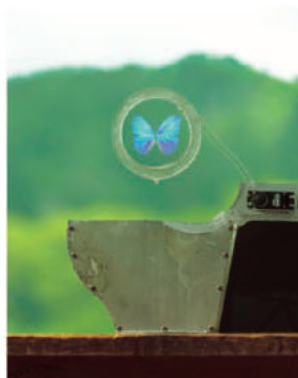
KENPOKU
ART 2016
茨城県北芸術祭

茨城県北地域を舞台に繰り広げられる現代アートの祭典

KENPOKU ART 2016 茨城県北芸術祭 開催中!!

11月20日まで、茨城県の県北地域6市町の風光明媚な海と山を舞台にした、初めての国際芸術祭を開催中です。「海か、山か、芸術か?」をテーマに、美術館だけでなく、自然の中や、商店街、廃校、歴史的建造物を活用して、国内外の多くのアーティストが様々な作品を展示しています。参加アーティストや会場アクセス、モデルコースなど芸術祭の見どころをHPでお知らせしておりますので、ぜひご覧ください。皆様のお越しをお待ちしております。

会 期	平成28年9月17日(土)～11月20日(日)
テ ー マ	海か、山か、芸術か?
総合ディレクター	南條史生(森美術館館長)
開 催 市 町	茨城県北地域6市町 [日立市、高萩市、北茨城市、常陸太田市、常陸大宮市、大子町]
主 催	茨城県北芸術祭実行委員会
作品鑑賞パスポート	一般:2,500円 / 学生・高齢者:1,500円



落合 一
《コロイドディスプレイ》2012/2016



イリヤ&エミリア・カバコフ
《落ちてきた空》1995/2016

お問い合わせ(詳しくはこちら)

茨城県北芸術祭実行委員会事務局
(県北振興課内)
Tel.0294-72-1121(現地事務所)

www.kenpoku-art.jp

茨城県北芸術祭

検索

大好き いばらき キャンドルのWA!! 参加団体募集

大好き いばらき 県民会議では、東日本大震災の犠牲者への追悼と家族や地域の絆への思いを次の世代へ紡いでいくことを目的として「大好き いばらき キャンドルナイト」を実施しております。今年度も県内各地域で行われるキャンドルナイトをつなぐ「大好き いばらき キャンドルのWA!!」を実施します。あなたの開催するキャンドルナイトも、ぜひこのWA!!(輪・和)に参加して、平成29年3月11日に茨城県三の丸庁舎前で開催する「大好き いばらき キャンドルナイト」で、あなたのキャンドルナイトの思いを灯してみませんか。多くの皆様のご参加を心よりお待ちしております。



キャンドルのWA!! 参加の流れ

参加のお申込みをいただくと
大好き いばらき 県民会議 から
①～③を、各参加団体にお送りします。

①大好き いばらき キャンドル(1つ)
②寄せ書き用の布
③大好き いばらき キャンドルナイト宣言書

各地で開催!!

- ・大好き いばらき キャンドルを灯してください
- ・寄せ書き用の布に、あなたの団体のメッセージを書いてください
- ・大好き いばらき キャンドルナイト宣言書を会場に掲示してください
- ・開催の様子が分かる写真を撮ってください

キャンドルナイトが終了したら... 大好き いばらき 県民会議へ
①～③を、返送してください。

①貴団体のキャンドル(1つ) ②寄せ書きした布 ③写真データ
(開催の様子が分かるもの)

平成29年3月11日開催予定 ※県三の丸庁舎前の会場で展示します。

大好き いばらき キャンドルナイト 点灯・展示します

- 【対 象】「大好き いばらき キャンドルナイト」の趣旨に賛同していただける茨城県内でキャンドルナイトを行う団体、学校等。
- 【実施期間】平成28年7月1日～平成29年3月11日
- 【申込方法】申込用紙に必要事項をご記入のうえ、大好き いばらき 県民会議 までお申込ください。
- 【その他】ご参加頂いた団体のキャンドルナイト情報は、当ホームページで随時発信し紹介させていただきます。



参加申込みの詳細はホームページをご覧ください。

大好き いばらき キャンドルナイト

検索



大好き いばらき 県民会議

〒310-0011 茨城県水戸市三の丸1-5-38 茨城県三の丸庁舎2階
Tel.029-224-8120 Fax.029-233-0030

URL <http://www.daisuki-ibaraki.jp/>

E-mail info@daisuki-ibaraki.jp

ブログ <http://d.hatena.ne.jp/daisukiibaraki>

ツイッター <https://twitter.com/daisukiibaraki>